

日本の侵略の歴史を学ぶー日本軍「慰安婦」問題ー

～愛国運動にどう反論していくか～

1991年に元日本軍「慰安婦」金学順（キム・ハクスン）さんが名乗り出て以降、日本軍の性奴隷とされた女性たちが証言にたち、国連人権委員会等で軍・官憲による強制の歴史的事実が明らかにされ、調査報告書が公式に採択されました。日本軍が直接計画した性奴隷制は動かしがたい歴史的事実、国際的な共通認識として定着しています。

しかし今、日本を戦争できる国にするために、安倍政権は日本の侵略戦争の歴史を覆い隠そうとしています。歴史の事実に向き合い、加害の責任をとることが近隣諸国との本当の関係を築き、平和な未来をともにつくることになります。知らされてこなかった侵略の歴史を学び、「従軍慰安婦なんてウソ」と宣伝する愛国運動にどう反論するか学習・交流をします。

日時 5月5日(月・祝) 19時～21時

場所 エル大阪 504 (京阪・地下鉄「天満橋」下車徒歩3分)

講師 週刊MDS編集部

参加費 500円

主催：ZENKO 平和と民主主義をめざす全国交歓会
<http://www.zenko-peace.com/>:TEL 090・8162・3004(川島)

